市報 あくね

第154号

編集と発行
阿久根市総務課
TEL（代表）450
印刷所
有限会社 福崎印刷所

昭和34年12月1日発行

今月のこよみ

4日 人権週間（10日）
8日 大雪
14日 義士祭
19日 農漁民まつり（20日）
22日 冬至
23日 皇太子誕生日
25日 クリスマス
28日 御用納め
31日 大みそか

今月の税金は

個定資産税 3期
国保税 4期
＝納期は12月25日＝

阿久根市の納税成績は県下15市中の才二位、九一二%です。滞った税金は今月中に是非済ませましょう

第3回定例市議会

市営住宅や塵かい焼却場の建設きまる

一般会計 一千万円を追加

……第3回市定例議会は、11月5日招集され、5日、6日、……9日の3日間にわたり、一般会計はじめる特別会計の追……加予算をふくむ二八議案を慎重審議し一議案を除くほか……全部を可決して閉会しました。なお、陳情、請願それ……ぞれ一件を採択することに決定しました。……

公平委員に 内山達四郎 大瀧太門 氏を選任

市公平委の田中右橘氏は本年9月13日任期満了となられ、また同じく田口耕三氏が3月12日辞任されているのでその後任として、大瀧太門（脇本）内山達四郎（高松町）の両氏が選任されました。

社会教育委員条例の全部および市立図書館条例の一部を改正する条例を可決しました。また一般職に属する職員の給与に関する条例の一部改正と、公民館運営審議会委員および社会教育委員の日当を三〇〇円とする、委員等の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正しました。

鶴川内、阿久根、西目の各校舎も新築

鶴川内小学校の校舎新築工費は移転改築する三教室（七五坪）宿直室の新築（十二坪）工費一二一万円をはじめ老朽で危険な校舎一二五坪を工費三二二万五千円で長田組が工事にあたることになりました。来年2月には完成する予定です。

阿久根小学校の増築工費は、不足教室三、職員室、管理室など一七〇坪で工費は四四三万七千円で宮園組が工事に当り12月いっぱいには完成します。

また西目小学校の体育館は、老朽校舎九一坪を解体して新築するもので長田組の手になり12月中には完成し、工費は一二八万円となっています。

市営住宅は高校下と運転試験場横

本年度の市営住宅は、潟地区佐潟入口右側の運転試験場横と高校下丸尾に新築することにきまりました。

そのためまず潟地区約五反二畝を十五五万九千円で、また丸尾地区は約一反八畝を四六万八千円で購入しました。

そして潟には、釜建設が一種四戸二種四戸を二〇五万四千円で、三笠建設が一種二戸、二種三戸を一五四万二千円で、宮園組が一種四戸二種四戸を二〇五万三千円で大和木工が一種四戸、二種三戸で一八一万八千円で建設することになりました。

また丸尾地区は二種のみ九戸を表迫組が二四三万三千円で工事にあたることになりました。これらは共に来年3月10日までには完了することになっています。

また現在琴平町にある授産場住宅は腐敗がひどく修理もできない状態にあるので、新たに大川小学校の解体校舎を利用して、潟地区塩尾に二戸当六、五坪の一棟六戸建三棟の引揚者住宅を建設することになり、野村建設工費一一六万円で工事に当ることになりました

また今まで戸柱公園裏で野焼にしていた塵かいの処理を、最も能率的に衛生的に処理するために、潟火葬場裏山に建設することになり焼却炉および附属建物など二〇四万一千で太陽築炉株式会社が工事にあたることにきまりました。

追加予算の大半は産業費 最初のこゝろみ農民祭を企画

まず一般会計の追加の総額は一千二五万八千一一二円でその大半の約五三万円は産業経済費となっています。このうち主なものは、土じょう研究所費やまた初のこゝろみとして七万五千円で農民祭をやることにしています。

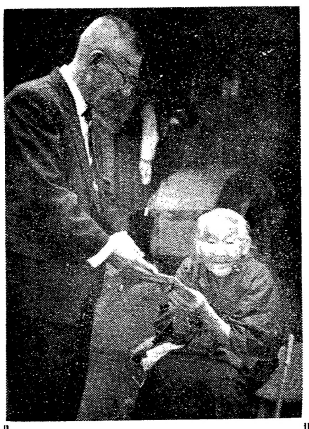
また貸付豚購入費一六万、井堰水路の災害復旧費一一二万、新農山漁村開発事業費として、農道四線、樹園地、共同作業所など約三二〇万円となっています。

その他住宅費として土地購入不足分など七二万円、教育費として大川小崖くずれ復旧費などを含めて約四八万円、土木費に、樹山線の工事費など合せて二六万円、市役所費一一一万円などが主なものです。

また水道特別会計は、西目地区工場用その他配水量増加による動力費、原材量費を主にして二五四万一千三九一円を追加しています

国民健康保険は事業勘定で六万五千円、施設勘定で二万二千円を追加しています。

またと畜場特別会計は水道量などの増加による費用をはじめ一般会計へ一〇〇万円を繰出すため一六八万六五〇円が追加されました



年金手帖第1号 山下マムさんへ

今年の11月1日から支給される国民年金のうち70才以上にさしあげる老令年金は市内 約1,400名、母子福祉年金で約350名、障害年金で190名となっていますが、先月2日その才1号が市内最高令者山下マムさん（山下）へ、市長から手わたされました。

品評会や演芸会も――

〝農漁民まつり〟12月19日 20日に――

こん度市では、はじめての試みとして農漁民まつりを開催することになりました。

この農漁民まつりは阿久根地区農業教育連絡会（農政課、普及所農高、農協、教委）が中心となり商工会議所と漁協、および鹿児島毎日新聞社の協議を得て計画されたものです。

幸い今年も豊作に恵れましたし仕事も一段落したいい時季を選んで、日頃の労苦を、演芸会や映画温泉などで、わすれていただき、合せて農作物の品評会や、農事や漁業、生活改善などについての資料や実物の展示実演などによって勉強もしていただこうという計画です。

農業は今曲り角にきているといわれます、私達の農業のあり方を今一度こゝで振り返って反省し、今後の農業の進展を図るためにもいゝ機会だと思いますので是非、近くの人々とおそろいでおでかけください。

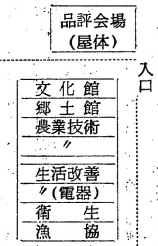
催しの計画

合同品評会	2019日即売	阿中屋体
各種資料展	19日は午前20日午前中	阿校舎中
農機具展示実演	19日	阿中運動場
演芸会	19日午後	阿中運動場

その他の催し

(イ) 映画館割引開放（東映）19日～20日 午前中
(ロ) 温泉割引開放 19日終日
(ハ) 市内商店街大売出し
抽せん会
（割引券は品評会場でお渡しします）

＝会場図＝



あなたの人権は守られていますか

人権週間 12月4日 ～ 10日

昭和23年12月10日、国際連合「世界人権宣言」を採択してから今年は十一年目に当ります。

この宣言というのは、人間は生れながらにして平等で、人権や国籍、宗教、地位などによって、差別されるものではないという内容のものです。

その後世界各国ではこの12月4日から10日までを「人権週間」として自由人権思想の普及に力を入れてきております。

わが国でも新らしい憲法のもとで基本的人権尊重の考えが一応普及されつゝありますが、反面自由および権利が間違って主張されたり、個人の主権をおかしている例が限りなく繰返えされている実情でもあります。

人権をおかされるということは何も、虐待されたり酷使されたり強制労働、村八分、日常の案外な人でもないようなこと、たとえば他人のうわさ話からでも個人にとっては重大な結果を招く場合もあります。

本当に私達はお互に充分注意しなければなりません。

そして若し人権を侵されている場合はけっして泣寝入りする必要はありません、進んで市人権委員（高松町、白浜貫徳、脇本、井上郷右エ門）か市役所戸籍係へ来て相談してください。

市では特にこの期間中にあたる12月8日午前10時から3時まで、市役所に人権相談所を設けて一般の人々の利用をお待ちすることにしています。

水道事業所移転 5日から電話は三一二番

今まで市役所にあった、建設課の水道係は、今月5日から市役所裏、専売公社横の水道現場事務所へ全部ひっこすことになりました

今後は水道関係の事務その他はすべてこゝの水道事務所で行います。電話は前のとおり三一二番です。

＝秋の大掃除＝

きれいな還境で年越を

秋の大掃除を行ってください。検査はつぎの日程で行います。

なお今度の掃除は、年の瀬もせまった今年最後の大掃除でもありますから、思いきってすみずみまで手入れして、明るいきれいな還境で年越しされるようにお願いしておきます。

3日 脇本浜、馬場、上原、下村、筒田、大淵川、桐上桐下
4日 瀬之浦上、下、古里、搗之浦東西、深田、松ケ根
7日 黒浜、大谷、黒上、大瀧小瀧、八郷
8日 尻無浜、竹迫、鈴木段南畑、表川内、小麦的場、中屋敷、仲仁田、川畑、本之牟礼、牛之浜
9日
10日 馬見塚、大川島、枦、落飛松、高之口、佐潟
11日 遠矢、馬場、尾崎、弓木野、波留
14日 宮原、羽田、へご野、横手、桁、桑原城上、下、長谷、木佐木野
15日 本町、高松、大丸、浜潟
16日 上野、新町、倉津、遠見岡
17日 田代上、中、下、中村、段
18日 永田上、下、折口東、牟田、大林、内田、陳之尾大下、丸内

図書館を休みます

12月10日～19日まで

市立図書館では、図書の整理や館内の整備のため12月10日から19日までの10日間、貸出しなどを中止して休館いたします。

しかしこの期間中も返納本は受付けることにしています。

年末たすけあい運動

12月1日 ～ 20日まで

今年も年末たすけあい運動がこの20日まで行われます

みなさんの愛の力で、みんな揃って明るいたのしい正月がむかえられるように、したいものです

一世帯20円程度の募金です。

ご協力をお願いします。

生活や病気で困ったときはこの人に

新らしい民生委員52名きまる

この12月1日で市内52名の新らしい民生委員が任命されました。

これらの民生委員の方々は、市の福祉事務所と協力して、生活や病気、就業、のことなどでお困りの市民の皆さん方の味方になってめんどうを見、世話をしてくださる方です。

またこれら民生委員の方は児童委員も兼ねておられますので子供のことで困っておられる人も遠慮なく相談されるようにお願いいたします。

＝新らしい民生委員と担当区＝

末田　実方（新）波留
白浜　美知（再）高松
鬼塚　金衛（再）町
鶴田　忠（再）大丸
松元　功（再）浜
福崎　泰蔵（再）上野
垂　重樹（再）新町
倉津　重則（新）倉津
石堂　一（再）渇
富永　富市（新）段
金松　利助（新）中村
寺脇　義満（再）内田
新留　矢平（再）牟田永田上下
池脇　三蔵（再）折口東、大林
児玉　利和（〃）大下丸内陳尾
中原　正一（〃）桑原城上、下長谷木佐木野
平田　道則（〃）椿、羽田
尾原　藤吉（〃）宮原、へご野横手
永原与次郎（新）田代上
村山　実弘（新）田代中、下
川崎　豊助（新）遠矢、馬場
新橋　義満（新）尾崎
福田　重則（再）佐高
西園　美義（新）高之口
新枅　兼蔵（再）飛松
松林　淳（新）枅
谷口　静男（再）落
岩崎　知止（〃）本之牟礼
馬見塚八蔵（〃）馬見塚大川島
牟礼　乙助（〃）牛之浜
神之田太郎右ェ門（新）仲仁田
奥平　武夫（再）仲屋敷
花木　伝作（〃）的場
神之田　節（〃）川畑
下園　昇（新）尻無上
鶴園　弘（新）尻無中
寺地　勇（新）尻無下
浦島浅右ェ門（新）脇本浜、馬場
宮原　景俊（再）下村
松木長右ェ門（〃）上原
筒　小一（〃）筒田
松下善右ェ門（新）桐野上、下
久松　チヨ（再）古里
柏木　重徳（新）瀬之浦上、下
寺下佐太郎（再）搗之浦東
中村　資教（再）深田搗之浦西
野村弥次郎（新）黒之浜
大谷　実（再）黒上、大谷
大鹿　隆志（〃）大鹿
八郷　清（新）小鹿、八郷
関本　藤雄（再）中学校
山下　景三（新）小学校

保険づき融資で家を建てましょう

＝住宅金融公庫の保険制度＝

皆さん方が家をたてられる場合直接住宅金融公庫から融資を受けて家を建てることももちろんできますが、しかしこれは希望者が非常に多くて、申込者全部に融資できない状況にあります。

そこで、住宅になやむこれらの人々に少しでも早く家をたてゝいたゞくために、昭和30年住宅融資保険制度というものが設けられています。

この住宅融資保険制度というのは一般の金融機関が住宅建設資金を貸しつける場合に、住宅金融公庫が、その貸付を保険することによって、住宅建設資金の貸し出しをしやすくする制度です。

保険つき貸付の対象となるのは専用住宅はもとよりですが、店舗つき住宅、あるいは事務所つきの住宅でもよくまた貸家やアパートでもよいことになっています。

また住宅の増築や、改築、建設用の土地の買入れも対象となります。

金融機関が保険貸出しをした場合、一年につき貸付金額の一分六厘程度の保険料を公庫に払込むことになっていますが、金融機関はこの保険料の三分の二までを手数料として、借主に負担してもらってもよいことになっています。

そこでこの保険つきの住宅資金を貸りると、利息以外に保険料を負担することがあるわけです。

この保険つきの住宅建設資金を貸り受けたい方は、つぎのところへ問合せてください。

契約金融機関名、手続の方法などくわしくおしらせすることになっています。

熊本市桜町二〇番地
住宅金融公庫熊本支所庶務課

1月の恩給、扶助料は12月にもらえます

来年1月6日が支給日である、恩給、および11日が支給日となっている公務扶助料は、今年は12月6日、および12月の11日に、それぞれ支給されることになっています。

たゞし障害年金だけは除かれます。

またこれら恩給や公務扶助料は振替貯金の手続きをとっておきますといちいち郵便局に出かけて行く必要もなく、自動的に自分の貯金に振込んでもらえます。

この貯金には利子もつき、またいつでも必要なときは引出すこともできる便利なものです。

さようなら1959年

いゝふらされた言葉ではありますが、泣いても笑っても、今月いっぱいで、今年もいよいよ暮れようとしています。

ふりかえってみると、私達の市がたどってきたこの一年間は、真に多事多難な年であったといえましょう。

しかしそのあしあとは、さゝやかではありますが、一歩一歩、豊かな、明るい、村づくり、まちづくりのために進んできたことをはっきり示しています。

学校や道路、橋や水道の建設にしろ、また形に現れなくても、直接私たちの一人一人につながる数々のことがらが実施されてきました。

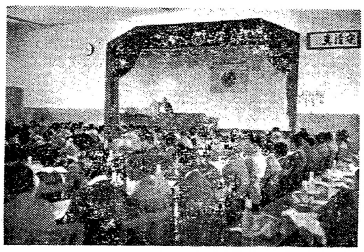
私たちは、こゝで過ぎ去った一年をふりかえり来るべき35年度への決意と期待を新らたにしたいと思います。

1月
1日　名刺交換会
7日　消防出初式

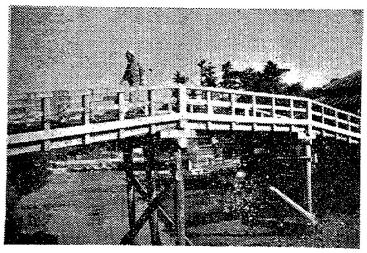
2月
1日　緑の羽根募金はじまる

3月
12日　第一回定例議会（34年度骨子予算きまる）
30日　大川、西目校舎完成
31日　枅地区で出火（9世帯を焼く）

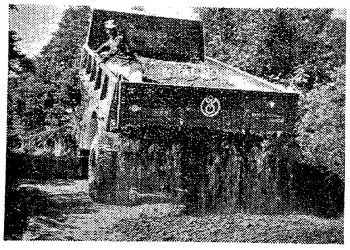
4月
1日　新人学児童一、〇三二名
10日　皇太子ご成婚記念式
23日　知事、県議選挙（寺園知事、大石県議きまる）
30日　市長、市議選挙（丹宗市長当選）



5月
1日　赤十字募金はじまる
13日　第二回臨時議会（江良助役、坂元、船元正副議長きまる。農政、商工水産課の設置）
28日　総合表彰式（一七四団体四一七名表彰）



6月
15日　第二回定例議会（土壌研究室設置きまる）
20日　大島キャンプ開村



7月
3日　国保表彰式
30日　脇本地区簡易水道完成
13日　4号台風来襲（被害一億一千万円）

8月
8日　農業夏期大学（9、10日）

9月
15日　としよりの日（市長高令者を慰問）
17日　14号台風来襲（被害一億二千万円）
20日　脇小80周年（講堂完成）

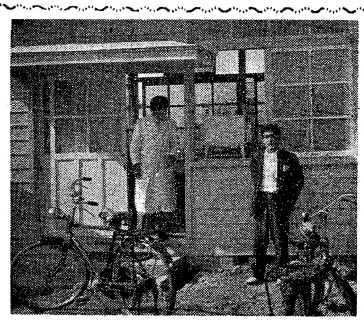
10月
1日　赤い羽根共同募金
15日　護国神社秋の例大祭
30日　NHK第2放送開始

11月
5日　市定例議会（市営住宅などの建設、ダンプカーの購入きまる）

12月
1日　新民生委員きまる
19日　農漁民祭（20日）
28日　御用納め

（写真は上は総合表彰式、月見橋、下ダンプカー）

土壌研究室完成



かねてから工事中の土壌研究所は、このほど完成し業務をはじめています。

この研究室は、市役所裏、専売公社横にたてられた建坪六坪の小さなものですが、土壌のことについてはあらゆる研究ができる設備がとゝのっています。

現在すでに二人の研究室員によって、市内各地別の土壌の研究にはいっています。

被害の七割は戸締りの不徹底

＝特に多い年末の犯罪＝

今年10月までに市内でおこった刑法犯は一九七件、交通事故は九件にもあがっています。

さらに、あわたゞしい年の瀬はとかく犯罪や交通事故が起りやすいときです。

兇悪犯、交通事故などはぐっとふえる傾向にあります。

なかでも銀行、郵便局、農協など金融機関の窓口で現金引出しをねらうものや、商店街での万引、かっぱらい、混み合う場所でのスリなど、また一般家庭では、アキス、忍込、詐欺、押売、などがめだってきます。

このような災難を防ぐためにはとくにつぎのようなことに注意をはらっていただきたいものです。

（金融機関、学校、工場など）
1. 防犯の施設をしっかべ整備する。
2. 警察への連絡方法をきめておく。
3. 警戒員や宿直員を増し、防犯、防火責任者をきめておく。

（一般家庭では）
1. 戸締りに工夫をする。
家に入って盗まれたものゝ七割までが戸締りをしてなかった家です。まずカギをかけ、寝る前出かける前は必ず戸締りに注意
2. 隣近所との連絡。
外出するときは、お互い近所で頼み合うようにする。

（交通事故を防ぐには）
1. 簡単なことだが人は右、車は左を厳重に実行する。歩道のあるところでは人は必ず歩道を。
2. 道路を横ぎるとき、左右をたしかめてさっさとわたる。
3. ものかげ、横道、木戸、門から急に道路に飛び出さない。
4. 子供の交通事故ほどいたましいものはありません。子供の一人遊びは絶対にいけません。

余裕米も出荷しましょう

今年のお米も、みなさん方の、丹せいこめた管理によりまして、非常な豊作で本当によい収穫ができましたことをお喜びいたします

さて今度はこの尊いお米を政府へ売渡す番になってきました。

みなさん方がさきに予約された総数量は市全部で約八、〇〇〇俵ですが市の本年度の目標は九、四〇〇俵ですから、予約量の約二割増の出荷でないと目標は完成されないことになります。

また予約されなかった人でも、少しでも余裕があれば出荷されるようにしてください。

暗に米を流すことは、国の法をおかすことはもちろんですが、経済的にも正式のルートで出荷される方がよっぽど得であるはずです

また出荷に際しては、乾燥調整をよくし、よく荷造りにも注意してよい等級で有利に売り渡すようにしてください。

おくやみ（10月分）

中村　裕子　6（脇本）和徳
早水フクマツ　87（〃）岩男
西田みよ子　6（〃）戸左ェ門
鶴田　エツ　72（〃）本人
楠木タヨエ　32（〃）秋義
〃　正子　0（〃）〃
〃　〃　81（〃）〃
野崎　フジ　79（〃）巌
大鹿　カメ　79（折口）恒吉三千人
堀切　ヨト　71（山下）光郎
福成勘太郎　64（折口）宮路サエ
尾崎　チヨ　53（山下）石右ェ門
中野　伊登　87（大川）栄之助
鶴園フサノ　49（〃）一三
中野カンキク　77（〃）末義
黒神　徳助　83（波留）キヨ
佐潟　アサ　57（西目）末吉
鶴園七次郎　72（大川）ハツキク
牛之浜キヨ　82（〃）巌
尾上新太郎　81（西目）敏
若松　精三　64（大川）義美
寺地　安代　61（〃）力
富吉　サダ　65（西目）源蔵
福山　サヨ　88（大丸）静
盛永　四郎　89（山下）為助
落　佐知男（大9、3、8）西目出身
父清右ェ門、昭和21年5月25日中華民国浜江省で戦病死
飛松　杉義（大13、6、25）西目出身
父十助、昭和22年3月25日朝鮮咸鏡南道興南で戦病死